

第 3 事業実績

I アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進

1 アイヌ関連研究事業

アイヌに関する総合的・実践的研究を行う事業及び研究成果などの出版に対して助成を行い、アイヌの社会や文化に関する研究の推進を図った。

(ア) 研究・出版助成

- ・研究助成 アイヌの社会や文化に関する総合的・実践的研究を行うものの中で、優れた研究成果の期待できる研究計画に対し経費を助成した。
- ・出版助成 アイヌの社会や文化に関する出版物で、商業ベースに乗らないものや自費出版のため発行部数が少なく、研究者などに行き渡らないものについて助成した。
- ・助成申請・交付状況

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績		残 額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
研究助成	一般	4	4,600	8	6,642	5	3,059	1,541
	奨励	2	600	1	500	1	390	210
出版助成		8	9,600	9	11,499	6	8,317	1,283
合 計		14	14,800	18	18,641	12	11,766	3,034

(イ) 研究成果集

・登載審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委 長	小川 悠治	アイヌ文化財団助成事業審査委員長
委 員	養島 栄紀	アイヌ文化財団助成事業審査委員
委 員	高木喜久恵	アイヌ文化財団事業運営副委員長
委 員	藪中 剛司	アイヌ文化財団事業運営委員

・審査（在宅審査）

審査期間	審査対象の成果品	摘 要
9月13日（火）～10月14日（金）	1件	各審査委員に成果品のコピーを送付し、在宅審査を行う。

・研究成果集の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌ関連総合研究等助成事業 研究報告第16号	12月	1,000	道内市町村教育委員会、主な公共図書館、大学付属図書館、博物館、北海道アイヌ協会等のアイヌ関係団体、研究機関など

II アイヌ語の振興

1 アイヌ語教育事業

① 指導者育成

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、アイヌ語の文法や言語学の基礎を踏まえた効果的な指導方法などについての学習機会を提供し、アイヌ語指導者の育成を図った。

(ア) 講師一覧

氏名	摘要
太田 満	北海道教育大学旭川校非常勤講師
北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究科教授
志賀 雪湖	東京外国語大学大学院非常勤講師
中川 裕	千葉大学文学部日本文化学科教授
八谷 麻衣	平成 28 年度アイヌ語初級講座（旭川地区）講師

(イ) 講師会議

開催日	開催場所	協議事項等
5月20日（金）	アイヌ文化財団会議室	・今年度の指導方針について ・スクーリング・カリキュラム案の作成 ・フォローアップ・カリキュラム案の作成
9月3日（土）	NTTセミナーセンタ	第2回スクーリング・カリキュラム案の作成
10月15日（土）	NTTセミナーセンタ	第3回スクーリング・カリキュラム案の作成
2月21日（火）	アイヌ文化財団会議室	・今年度の総括 ・次年度の添削課題について ・フォローアップ講座・日程および開催地域の決定について

(ウ) スクーリング

開催期間	開催場所	受講生
9月2日（金）～9月4日（日）	NTTセミナーセンタ	芦沢 一行、片山 和美、 加納ルミ子、上河 彩、 木村 梨乃、椎久 慎介、 八重樫正恵
10月14日（金）～10月16日（日）	NTTセミナーセンタ アイヌ文化財団会議室	
11月4日（金）～11月6日（日）	NTTセミナーセンタ	

(エ) フォローアップ講座

開催期間	開催場所	受講生
7月1日（金）～3日（日）	浦河町堺町生活館	大須賀るえ子、沖津 翼、小川 早苗、 木幡 弘文、工藤 小夜、作田 悟、 関根 健司、多原亜希子、多原 良子、 中井 貴規、東元 大介、深澤みよの、 山道ヒビキ

② 上級講座

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、中級話者を対象に地域において講座を開設し、将来、アイヌ語の指導者となる上級話者の育成を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	中川 裕	7	4月23日(土)～3月25日(土)	12
浦河	関根 健司	5	7月4日(月)～10月18日(火)	12
札幌	川上さやか	5	7月12日(火)～8月2日(火)	12
白老	大須賀るえ子	4	6月5日(日)～9月4日(日)	12
白糠	藤村 久和	5	6月11日(土)～12月13日(火)	12
平取	大野 徹人	5	7月29日(金)～3月6日(月)	12
阿寒	藤村 久和	5	10月29日(土)～2月13日(月)	12

③ 初級講座

(a) 親と子のアイヌ語学習

アイヌ民族の親子を対象とし、アイヌ語話者及びアイヌ語研究者の協力を得て、アイヌ語の振興及びアイヌの伝統や文化の保存を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	瀧口 夕美	2家族4名	4月9日(土)～3月25日(土)	24
旭川	八谷 麻衣	2家族4名	6月22日(水)～3月2日(木)	12
札幌	澤井 アク	2家族6名	1月17日(火)～3月9日(木)	23

(b) アイヌ語入門講座

アイヌ語伝承者のさらなる掘り起こしと裾野の拡大を目的にアイヌ語を学習、習得及び継承しようとする意欲のある未経験者を対象とした入門講座を実施し、中級話者及び上級話者の育成につなげた。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
札幌	多原 良子	22	7月9日(土)～12月17日(土)	20
東京	成田 英敏	31	5月11日(水)～3月22日(水)	20
苫小牧	作田 悟	18	6月8日(水)～2月22日(水)	20
平取	尾崎 友香	10	6月1日(水)～2月22日(水)	20
むかわ	佐々木義一	6	6月17日(金)～3月1日(水)	20
釧路	奥田 幸子	40	7月6日(水)～11月30日(木)	20
旭川	川村 久恵	7	7月29日(金)～2月17日(金)	20

2 アイヌ語普及事業

① ラジオ講座

アイヌ語を広く一般に普及させるため、初心者向けのアイヌ語講座をS T Vラジオから放送し、多くの人にアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するとともに、アイヌ語やアイヌ文化への理解の促進を図った。

(ア) 放送内容

放送局	放送日・放送時間	講師
S T Vラジオ	本放送：毎週日曜日 あさ7:00～7:15 再放送：毎週土曜日 よる11:45～12:00	川上 容子

(イ) テキスト

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
平成 28 年度 Vol. 2 (7月～9月放送分)	6月	3,500	S T V、道内市町村教育委員会、アイヌ協会、各地域アイヌ協会など
平成 28 年度 Vol. 3 (10月～12月放送分)	9月	3,500	
平成 28 年度 Vol. 4 (1月～3月放送分)	12月	3,500	
平成 29 年度 Vol. 1 (4月～6月放送分)	3月	3,500	

② 弁論大会

アイヌ語を学んでいる人々の学習成果を発表する場として、アイヌ語による弁論大会を開催し、その学習意欲の向上を図るとともに、開催地域の人々にアイヌ語を直接耳にする機会を設けアイヌ語の普及を図った。

(ア) 開催日時

12月4日(日) 9:30～16:20

(イ) 開催場所

千歳市民文化センター 北ガス文化ホール 中ホール

(ウ) 出場者

募集期間 6月28日(火)～9月30日(金)

区 分	発表内容	出場者数
子供の部	自由	16組 16名
大人の部 口承文芸部門 弁論部門	英雄叙事詩、神話、昔話など	23組 29名
	自由	8組 8名
口演の部	自由	2組 2名

(エ) 審査委員

区 分	氏 名
審査委員長	弓野 恵子
審査委員	岡田 路明、関根 健司、丸子美記子

(オ) 受賞者

	区 分	発表内容	出場者数
最優秀賞	子供の部	自由	藤戸 雄太(釧路市)
	大人の部	口承文芸 弁論	関口真由来(札幌市) 中井 貴規(白老町)
優秀賞	子供の部	自由	下倉 幹人(釧路市)、川浪龍斗(千歳市)
	大人の部	口承文芸 弁論	山道ヒビキ(白老町)、山丸賢雄(白老町) 山本 りえ(白老町)、新谷裕也(白老町)

Ⅲ アイヌ文化の振興

1 アイヌ文化伝承再生事業

① マニュアル作成

アイヌの伝統的な生活文化には、有形・無形を含め様々なものがあるが、その製作技術や儀礼などが失われつつある。このため、テーマ毎に映像と活字による「アイヌ生活文化再現マニュアル」、工芸品等の製作の様子や伝承活動を紹介する「アイヌ文化伝承活動アーカイブス」を作成し、広く人々の利用に供して、製作技術などの保存・伝承を図った。

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
活字マニュアル踊り編Ⅳ	7月	270	博物館、図書館、各アイヌ協会、 アイヌ関係団体など
映像マニュアル踊り編Ⅴ	3月	320	
アイヌ文化伝承活動アーカイブス	3月	1,000	

② 実践上級講座

(a) 口承文芸伝承者（語り部）育成

ユカラ（英雄叙事詩）、カムイユカラ（神々の物語）、ウエペケレ（昔話）などの口承文芸の伝統を継承するため、伝承者が継承者へ「語り」を直接指導するなどして、新たな語り部の育成を図った。

開催地区	伝承者	継承者数	開催期間	開催回数
浦 河	太田 満	4	7月15日（金）～12月17日（土）	15
帯 広	木村寿美子	4	9月13日（火）～12月20日（火）	15
札 幌	澤井 アク	5	6月1日（水）～6月19日（日）	15
白 糠	（音声資料）	5	6月18日（土）～12月16日（金）	15
平 取	木幡サチ子	5	6月8日（水）～11月29日（火）	15
むかわ	押野千恵子	5	6月18日（土）～11月19日（土）	15

(b) 伝統文化（木彫・刺繍等）指導者育成

アイヌの人々が多く居住する北海道や関東地区において、アイヌの民族舞踊や刺繍、木彫などの講座を開設し、アイヌ文化を担う指導者の育成を図った。

開催地区	講座種別	講 師	受講者数	開催期間	開催回数
東 京	刺 繍	丸子美記子	14	6月5日（日）～3月5日（日）	12
	木 彫	高野 繁廣	6	4月24日（日）～3月26日（土）	9
	編 物	河岸 麗子	15	6月5日（日）～3月5日（日）	9
八 雲	刺 繍	溝口 正枝	14	6月24日（金）～1月27日（金）	12
登 別	木 彫	長縄 茂	11	10月27日（木）～1月13日（金）	12
芽 室	刺 繍	山本みい子	7	6月26日（日）～2月12日（日）	12
平 取	刺 繍	貝澤かつえ	8	6月20日（月）～12月12日（月）	12
長万部 チセの会	刺 繍	三原久美子	13	6月15日（水）～1月18日（水）	12
上士幌	刺 繍	廣川 和子	11	6月24日（金）～1月8日（日）	12
札 幌	刺 繍	石井 美香	15	6月20日（月）～9月26日（月）	12

浦 幌	刺 繡	廣川 和子	6	8月24日(水)～11月9日(水)	12
むかわ	刺 繡	本間 英子	15	7月5日(火)～10月26日(水)	12
様 似	編 物	熊谷 カネ	11	9月30日(金)～12月17日(土)	12
札 幌	編 物	貝澤 竹子	15	6月22日(水)～9月28日(水)	12
伊 達	編 物	山崎シマ子	15	9月8日(木)～10月21日(金)	7
札 幌	木 彫	長縄 茂	15	6月23日(木)～9月15日(木)	12
春採アイヌ 釧路リムセ 保存会	木 彫	諏訪 良光	11	9月7日(水)～10月19日(水)	12
帯 広	木 彫	荒田 裕樹	15	8月20日(土)～11月12日(土)	12
白 老	木 彫	山田 祐治	9	10月29日(土)～12月4日(日)	12
苫小牧	木 彫	作田 悟	15	6月29日(水)～2月1日(水)	12
阿 寒	木 彫	貝澤 徹	15	11月5日(土)～2月19日(日)	12
旭 川	舞 踊	川村 久恵	7	6月26日(日)～10月22日(土)	12
札幌ウポ ポ保存会	舞 踊	結城 志穂	14	7月1日(金)～11月5日(土)	12
白 老 保存会	舞 踊	倉部テル子	9	6月8日(水)～10月19日(水)	12

(c) 成果発表会の開催

(ア) 審査委員

役職名	氏 名	摘 要
委 員	川村 則子	伝統工芸家
委 員	水野 練平	伝統工芸家

(イ) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
2月10日(金)	千代田区立日比谷図書分館	37点	一次審査～二次審査

(ウ) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	2月11日(土)	千代田区立日比谷図書分館	95名
展 示	2月10日(金)～12日(日)		

(エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	部 門	作品名
優秀賞	八幡 智子	刺繡の伝統作品	ルウンペ
	掛川きさ子	アイヌに関する一般作品	ベスト
入 選	今井ノリ子	刺繡の伝統作品	チンジリ
	弓野 恵子	刺繡の伝統作品	チジリ
	大空ひとみ	アイヌに関する一般作品	タペストリー
奨励賞	島田ひとみ	刺繡の伝統作品	ルウンペ
	神崎千代子	その他の伝統的作品	サラニプ
	宇佐 恵美	その他の伝統的作品	メノコイタ
	石澤 清子	アイヌに関する一般作品	チカルカルペ

③ 伝統工芸複製助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、複製品製作を行う個人や団体に対して経費の一部を助成し、その伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
29	12,900	45	13,830	40	12,060

④ 口承文芸視聴覚資料作成事業

ユカラをはじめとした口承文芸について、語り（アイヌ語）、日本語訳及び字幕を入れたアニメーション映像を作成し、アイヌの無形文化の紹介資料とするとともに、アイヌ語やアイヌ文化の入門教材として活用することによりアイヌ文化の振興を図った。

(ア) 口承文芸視聴覚資料作成事業編集委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員	遠藤 志保	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究職員
委員	大坂 拓	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究職員
委員	北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	矢崎 春菜	一般財団法人アイヌ民族博物館学芸員

(イ) 編集委員会

開催日	開催場所	協議事項等
5月26日（金）	アイヌ文化財団会議室	物語（題材）の選定 制作に係る方針・DVDの構成等について
8月24日（水）	アイヌ文化財団会議室	企画提案書の審査と評価 スケジュールについて
9月21日（水）	アイヌ文化財団会議室	イメージ画について その他
10月13日（木）	アイヌ文化財団会議室	演出・絵コンテについて その他
11月24日（木）	アイヌ文化財団会議室	原画・映像コンテチェック
1月5日（木）	アイヌ文化財団会議室	映像コンテチェック 日本語訳について

(ウ) 映像資料（DVD）

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
オルシペ スウォブ5	3月	2,000	各アイヌ協会、関係博物館、道内小学校、アイヌ語や口承文芸の伝承を志す初心者など

⑤ 風俗慣習に関する伝承事業

アイヌ文化振興の一環として、文化継承者として次世代を担う人たちが、豊富な経験や知識を有するエカシ、フチからアイヌの風俗や慣習について継承する取り組みに要する経費の一部を助成し、アイヌ文化伝承活動の促進を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7	1,750	5	1,120	5	1,099

2 アイヌ文化交流事業

① アイヌ文化交流事業

(a) 国内文化交流助成

アイヌ文化の伝承者などを招聘し、アイヌ語や民族舞踊、木彫などを学習・鑑賞・体験しようとする事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の理解を促進しようとする活動を援助した。

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
道内実施	25	25,000	72	39,695	70	34,320
道外実施	11	16,500	10	12,388	10	11,642
合 計	36	41,500	82	52,083	80	45,962

* 実施状況の現地確認

財団職員が、現地に出向き助成事業の実施状況を確認した。

件数 16 事業、派遣者数 16 人

(b) 国際文化交流助成

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外先住民族などとの交流を通して、その文化の伝承・保存活動などを学ぶとともに、自らの文化を紹介するため、海外への派遣や海外から招聘する国際交流事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

(ア) 派遣事業

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外で文化交流活動を行う事業

(イ) 招聘事業

アイヌ文化の活動に関するセミナーなどを国内で開催する際に、海外から講師などを招聘する事業

(ウ) 助成申請・交付状況

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
派遣事業	4	4,800	1	2,228	1	2,012
招聘事業	2	800	1	745	1	502
合 計	6	5,600	2	2,973	2	2,514

② 青少年国際文化交流研修事業

アイヌ文化の伝承・保存に関心を持つ青少年について、海外の少数民族や先住民族と交流する場を設け、海外における文化伝承・保存活動の先進事例を直接学ぶことにより、将来のアイヌ文化の担い手としての自覚を喚起し、以て若年層のアイヌ文化伝承・保存活動への意欲向上

を図るとともに伝承基盤の強化を図った。

(ア) ハワイ研修

- ・ 募集期間 8月8日(月)～10月5日(水)
- ・ 応募者数 13名 ・ 選考結果 10名
- ・ 事前研修(研修生10名 事務局3名)

実施日	場 所
11月19日(土)～11月20日(日)	アイヌ文化財団会議室

- ・ 海外研修(研修生10名 事務局2名)

実施日	交流先
1月8日(日)～1月13日(金)	アメリカ合衆国ハワイ州ホノルルにおいて ハワイアンとの交流

- ・ 事後研修(研修生8名 事務局3名)

実施日	場 所
2月18日(土)	アイヌ文化財団会議室

(イ) 青少年国際文化交流フォローアップ研修事業助成

この研修事業に参加した若者を対象に、アイヌ文化の継承者として育てていくため、「アイヌ若者委員会」が主催する行事等への参加に要する経費を助成した。

実施日	主催・題材	講 師
5月22日(日)	アイヌ若者委員会 事業検討会議	
8月28日(日)	アイヌ若者委員会 第1回研修会 『アイヌ新法ってなに？ なぜ必要なんだろう？』	中村 康利
9月17日(土)～18日(日)	アイヌ若者委員会 第2回研修会 『道東研修－阿寒湖編 古式舞踊を見て踊り、山のことを エカシとフチに学ぼう』	床 みどり 秋辺日出男
		床 明 日川キク子

3 アイヌ文化普及事業

① 伝統工芸展示・公開助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、優れた工芸品の展示・公開を行う個人や団体に対して、経費の一部を助成し、伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
6	3,386	7	3,215	6	2,717

② アドバイザー派遣

アイヌの伝統や文化についての理解を深め、技術を学ぼうとする文化団体や学校などからの要請に応じて、専門的な知識や技術等を有する人をアドバイザーとして派遣するとともに、各種学校向けにアイヌ文化体験講座をメニュー化した「学校向け(パッケージ)派遣」を設け、アイヌ文化の振興を図った。

- (ア) 委 嘱 297 名
 (イ) 派遣実績 355 件 延 613 人

(うち学校派遣：小学校 101 件、中学校 24 件、高校 21 件、大学 21 件)

③ 工芸品展

アイヌの伝統的な工芸技術を用いて製作されたアイヌ民族衣装、生活用具、儀式用具、民芸品等を広く一般に公開するため、「アイヌ工芸品展」を開催し、アイヌ文化に関する知識の普及啓発及び伝承意欲の向上等の促進を図った。

(a) 工芸品展企画委員

(ア) 企画委員名簿

役職名	氏 名	摘 要
委員長	佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授
委 員	五十嵐聡美	北海道立帯広美術館学芸課長
委 員	北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委 員	城石 梨奈	北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員研究員
委 員	関根 真紀	アイヌ文化実践者
委 員	津田 命子	アイヌ服飾文様研究家
委 員	村木 美幸	一般財団法人アイヌ民族博物館専務理事
委 員	山崎 幸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委 員	宮地 鼓	苫小牧市美術博物館学芸員
委 員	佐藤 茉莉	苫小牧市美術博物館学芸員
委 員	飯塚 信久	茨城県立歴史館史料学芸部学芸課長
委 員	由波 俊幸	茨城県立歴史館史料学芸部主任研究員

(イ) 企画委員会

開催日	開催場所	協議事項
4月15日（金）	アイヌ文化財団会議室	資料調査について、展示資料について、 展示構成について、論考について 今後のスケジュールについて
7月8日（金）	アイヌ文化財団会議室	展示資料について、図録構成について 輸送スケジュールについて その他

(b) 展覧会

(ア) 工芸品展名称

「イカラカラーアイヌ刺繍の世界ー」

(イ) 出品協力先等

網走市立郷土博物館、一般財団法人アイヌ民族博物館、伊能忠敬記念館、国立公文書館、国立民族学博物館、市立函館博物館、つくばみらい市立間宮林蔵記念館、天理大学附属天理参考館、東京国立博物館、函館市北方民族資料館、北海道大学植物園、北海道大学附属図書館、北海道博物館、北海道立北方民族博物館、上宮寺（茨城県那珂市）、常福寺（茨城県那珂市）、水戸市教育委員会、貝澤雪子氏、木村一郎氏、津田命子氏（計 187 点）

(ウ) 道内会場

- ・会 期 9月17日(土)～11月3日(月・祝)
- ・会 場 苫小牧市美術博物館
- ・来場者数 4,319名
- ・関連事業

区 分	内容等
オープニングイベント	日 時 9月17日(土) ① 9:30～10:00 開会式・カムイノミ (協力:苫小牧アイヌ協会) ②10:00～11:00 スペシャルギャラリーツアー 会 場 展示室 講 師 佐々木利和(北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授) 村木 美幸(一般財団法人アイヌ民族博物館専務理事) 来場者数 ①72名、②49名
講演会	名 称 「アイヌの衣服から見えてきたこと」 日 時 10月1日(土) 14:00～15:30 会 場 研修室 講 師 吉本 忍(国立民族学博物館名誉教授) 来場者数 42名
アイヌ文化 の体験講座	名 称 古文書講座『蝦夷日記』をよむ 日 時 10月22日(土) 13:00～15:00 会 場 研修室A 講 師 苫小牧市美術博物館学芸員 来場者数 27名
	名 称 「刺繍ワークショップ」 日 時 10月29日(土) 13:00～16:00 会 場 研修室A 講 師 関根 真紀(アイヌ工芸家) 来場者数 43名
ギャラリートーク	日 時 ①10月10日(月・祝) ②10月16日(日) ③10月29日(土) 各回とも 14:00～14:30 会 場 展示室 講 師 苫小牧市美術博物館学芸員 来場者数 ①24名、②11名、③19名

(エ) 道外会場

- ・会 期 平成29年2月4日(土)～平成29年3月20日(月・祝)
- ・会 場 茨城県立歴史館
- ・来場者数 19,710名
- ・関連事業

区 分	内容等
オープニングイベント	日 時 2月4日(土) ①9:00～9:30 開会式 ②9:30～10:30 ギャラリートーク 会 場 展示室 講 師 佐々木利和(北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授) 村木 美幸(一般財団法人アイヌ民族博物館専務理事) 飯塚 信久(茨城県立歴史館学芸課長) 来場者数 351名

ギャラリートーク	日 時 ①2月18日(土) ②2月26日(日) ③3月3日(金) ④3月4日(土) ⑤3月12日(日) 各回とも 11:00～ 会 場 展覧会場(第一展示室) 講 師 ①飯塚 信久(茨城県立歴史館学芸課長) ②関根 真紀(アイヌ工芸家) ③飯塚 信久(茨城県立歴史館学芸課長) ④宮地 鼓(苫小牧市美術博物館主任学芸員) 飯塚 信久(茨城県立歴史館学芸課長) 来場者数 ①170名、②132名、③85名、④81名
講演会	名 称 「アイヌ文化常陸国・水戸藩」 日 時 2月12日(土) 13:30～15:30 会 場 講堂 講 師 谷本 晃久(北海道大学大学院文学研究科准教授) 来場者数 176名
アイヌ文化 の体験講座	名 称 「アイヌ刺繍入りのコースターを作ろう」 日 時 2月26日(日) 13:30～15:30 会 場 講堂 講 師 関根 真紀(アイヌ工芸家) 貝澤 美雪(アイヌ工芸家) 来場者数 50名
	名 称 「ムックリ(アイヌ楽器)を作って奏でよう」 日 時 3月12日(土) 13:30～15:30 会 場 講堂 講 師 岡田 恵介(アイヌ文化財団事業一課係長) 来場者数 34名

(c) 常設展示

アイヌ文化財団事務室及びアイヌ文化交流センターに財団所蔵資料を常設展示

(d) 現代アイヌ工芸品の展示

先代より守り伝えられてきた手仕事から生まれた現代アイヌ工芸品を展示・公開した。

展示場所	時 期	展示品
北海道庁本庁舎1階	通年	アットゥシ、イタ、サラニブ
胆振総合振興局	通年	イタ、マキリ、ルウンペ

(e) 貸出

所蔵資料の貸出 22 件

④ 文化フェスティバル

北海道及び北海道外において、広く一般の人々を対象に、民族舞踊をはじめとするアイヌ文化を総合的に紹介するアイヌ文化フェスティバルを開催し、アイヌ民族やアイヌ文化への国民的な理解の促進を図った。

開催日・開催地	内 容	来場者数
5月14日(土) 富山県富山市 (富山市大沢野 文化会館)	◇講演「越中、そして蝦夷地」 佐々木利和(北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授) ◇伝統楽器演奏 千葉 伸彦(音楽家) ◇アイヌ古式舞踊 阿寒アイヌ民族文化保存会	782

	◇実演 木彫 貝澤 徹 ((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師) 刺繍 貝澤 竹子 ((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	
7月16日(土) 北海道登別市 (登別市民会館)	◇講演「幌別地方の神々と文化 —知里姉弟が描いたアイヌの精神世界—」 北原次郎太(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授) ◇音楽演奏 HEAT VOICE(ヒートボイス) ◇アイヌ古式舞踊・ムックリ公演 鶴川アイヌ文化伝承保存会 ◇実演 木彫 荒木 繁((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師) 刺繍 宮田 初枝((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	220
9月10日(土) 東京都千代田区 (有楽町ホール)	◇講演「アイヌ民族形成史を考古学で考える： 先住民考古学という新たなアプローチ」 加藤 博文(北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授) ◇口承文芸講演 荒田このみ(伝承者育成事業第1期修了生) 山本 りえ(伝承者育成事業第3期生) ◇アイヌ古式舞踊公演 ヤイレнка ◇実演 木彫 高野 繁廣((公財)アイヌ文化振興・研究推進機構伝統工芸家) 刺繍 間宮喜代子((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	588
10月15日(土) 北海道札幌市 (道新ホール)	◇アイヌ文化賞・アイヌ文化奨励賞贈呈式 ◇口承文芸講演 藤谷るみ子(平成27年度アイヌ語弁論大会最優秀賞受賞者) ◇紙芝居 三橋 とら(紙芝居師) ◇アイヌ伝統楽器演奏 T o y T o y ◇アイヌ古式舞踊・ムックリ公演 アンコラチメノコウタラ ◇実演 木彫 貝澤 守((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師) 刺繍 岡田 育子((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	355
2月4日(土) 茨城県水戸市 (駿優教育会館)	◇講演「DNAが明らかにする日本列島集団の成立史」 篠田 謙一(国立科学博物館副館長) ◇口承文芸口演 川上さやか(平成25年度アイヌ語弁論大会最優秀賞受賞者) ◇アイヌ古式舞踊 帯広カムイトウウポポ保存会 ◇実演 木彫 水野 練平((公財)アイヌ文化振興・研究推進機構伝統工芸家) 刺繍 石井 美香((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	568

⑤ 博物館等アイヌ資料展示・公開等助成

博物館・資料館等が実施するアイヌ文化に関する体験学習やアイヌ関係の所蔵資料の公開に要する経費の一部を助成することで、来館者がムックリ等の製作体験をできる機会を増やすとともに、収蔵庫に収められている資料の公開を促進することによりアイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
常設展示	1	3,000	1	2,840	1	2,840
企画展示	1	3,000	2	4,076	2	3,820
体験事業	10	3,000	2	475	2	381
合 計	12	9,000	5	7,391	5	7,041

4 アイヌ文化活動表彰事業

① 工芸作品コンテスト

アイヌの伝統的な技術による工芸作品やその技術を活用した現代的創作作品のコンテストを開催し、優秀な作品を表彰して製作技術の向上と芸術創作活動を促進するとともに、応募作品を展示し、アイヌ工芸作品を鑑賞する機会を提供した。

(ア) アイヌ工芸作品コンテスト審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	浅川 泰	元北海道立近代美術館学芸部長
副委員長	川村 則子	アトリエのんのん代表
委 員	貝澤 徹	北の工房つとむ
委 員	高野 啓子	高野民芸
委 員	西田香代子	チニタ民藝店
委 員	藪中 剛司	新ひだか町博物館館長

(イ) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
8月18日(木)	かでの2・7 110会議室及び 展示ホール	187点	委員長の互選 一次審査及び二次審査 受賞作品決定

(ウ) 表彰式・展示

区 分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	8月20日(土)	かでの2・7展示ホール	—
展 示	8月19日(金)～22日(月)		618
巡回展示	9月10日(土)～13日(火)	有楽町朝日ギャラリー	723

(エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	所在地	部 門	作品名
優秀賞	佐々木千代	室蘭市	刺繍・伝統	ルウンペ
	山道 陽輪	白老町	木彫・伝統	イクバスイ
	倉島 美栄	北広島市	一 般	のれん(カパラミア仕立)
入 選	佐藤恵美子	札幌市	刺繍・伝統	厚司(紺裂置文樹皮衣)
	洲崎 春男	平取町	木彫・伝統	イタ(盆)
	貝澤 雪子	平取町	一 般	二風谷アットウシ 帯
奨励賞	吉国 幸子	白老町	刺繍・伝統	ルウンペ/木綿衣
	加藤シヅエ	札幌市	刺繍・伝統	ルウンペ

	佐藤こずえ	帯広市	刺繍・伝統	チヂリ
	竹内 洋子	函館市	刺繍・伝統	ルウンペ
	長縄由加利	札幌市	刺繍・伝統	サラニブ
	上田 敏子	札幌市	一 般	モオール（親子ペア）
	片山 兵衛	鷹西町	一 般	釉象笹アイヌ紋角皿
	河岸 麗子	白老町	一 般	ニシパとメノコ（紳士と淑女・帽子付き）
	下河 ヤエ	白老町	一 般	テタラペ
	長谷川順子	苫小牧市	一 般	タペストリー

② アイヌ文化賞

永年にわたってアイヌ文化の向上、発展に努め、特に功績のあった人たちに、アイヌ文化賞、アイヌ文化奨励賞を贈呈して、その功績を顕彰するとともに、アイヌ文化の継承・振興にかかわる諸活動を奨励・促進した。

(ア) 被表彰者推薦期間

5月6日（金）～6月30日（木）

(イ) アイヌ文化賞等表彰者選考委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委員長	菊地 修二	様似アイヌ協会会長
委 員	浅川 泰	元北海道立近代美術館学芸部長
委 員	宇治 義之	豊浦アイヌ協会会長
委 員	弓野 恵子	東京アイヌ協会副会長
委 員	高木喜久恵	シノッチャの会会長
委 員	出利葉浩司	北海道博物館学芸員
委 員	三上 純一	むかわアイヌ協会会長

(ウ) 選考委員会

開催日	開催場所	協議事項等
9月6日（火）	アイヌ文化財団会議室	委員長の互選 アイヌ文化賞及びアイヌ文化奨励賞の選考

(エ) 贈呈式

開催日	開催場所	摘 要
10月15日（土）	道新ホール	文化フェスティバル（札幌会場）において実施

(オ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者（年齢）	所在地	備 考
アイヌ文化賞	澤井 進（84歳）	阿寒町	
アイヌ文化 奨励賞（個人）	河岸 麗子（67歳）	白老町	
	木下 梅雄（78歳）	むかわ町	
	弓野 恵子（68歳）	千葉県大網白里市	
	倉部テル子（69歳）	白老町	
	瀧口ユリ子（75歳）	阿寒町	
	富樫 正枝（74歳）	釧路市	
	平村 博（63歳）	新ひだか町	
	藤谷るみ子（67歳）	平取町	

5 国立アイヌ民族博物館企画・テーマ展示支援業務

「民族の象徴となる空間」に整備される国立のアイヌ文化博物館（仮称）の開館に向けて、企画展示、テーマ展示に関する業務を支援する。

- ① 企画・テーマ展示に関わる企画立案の支援
- ② アイヌ文化等に関連する展覧会の内容調査
- ③ 展覧会等の報告リスト作成
- ④ その他・派生業務

IV アイヌの伝統等に関する普及啓発

1 普及啓発促進事業

① 広報情報発信

(a) リーフレット等発行

アイヌの歴史や文化を紹介したパンフレットなどの広報資料を発行し、アイヌの歴史や文化について広く一般の人々の理解の促進を図った。

種別	言語種別	作成時期	作成数	主な配布先
総合版 「アイヌ文化財団のあらし」	日本語版	6月	6,000	図書館、博物館、 アイヌ関係団体の ほか、主催事業への 来場者等
	英語版	6月	1,000	
文化情報版 「アイヌの人たちとともに」	日本語版	7月	10,000	
	日本語版増刷	9月	6,000	
	英語版	7月	3,000	

(b) ホームページ

インターネット上でアイヌ文化などに関する様々な情報を国内外に発信し、その普及啓発を図った。外国人のために英文のページも開設している。

- (ア) アクセス数 83,003 件（対前年比 14,002 件増）
- (イ) アイヌ生活文化再現マニュアル「踊り」（平成 28 年度制作）の追加
- (ウ) 幼児向け絵本「からすのくろいほし」（平成 27 年度最優秀賞受賞作品）の追加
- (エ) 児童書「アイヌの昔話 雷を打ち負かした女の子」の追加
- (オ) 動画「オルシペ スウォブ4」の追加

(c) 地上デジタル・データ放送によるアイヌ文化の普及啓発

地上デジタル・データ放送を利用して、アイヌ文化に関する情報を発信し（平成 24 年 4 月から札幌テレビ放送（STV）で放送中）広くアイヌ文化の周知・普及を図った。

情報量	アイヌ文化の紹介 4 件、アイヌのことば 2 件、アイヌの歴史 6 件、 アイヌの物語 2 件、アイヌ関連展示施設 44 件
-----	---

② 小中学生向け副読本の作成・配布

アイヌの歴史や文化についての児童・生徒の理解を深めるため、学校教育の場で使用される副読本を作成し、全国の小中学校へ配布してアイヌの歴史や文化などについての知識の普及啓発を図るとともに教員を対象に研修会を開催した。

(7) 副読本等

種 別	作成時期	作成数	配布先
小学生用	8月	72,000	全国の公立小中学校（道内小4学年、中2学年児童生徒全員）、都道府県教育委員会、市町村教育委員会、図書館など
中学生用	8月	66,000	
教師用指導書	8月	38,000	

(イ) 教員向け研修会

開催日	開催地	講 師	事例発表者	受講者数
6月4日（土）	新潟県上越市	蓑島 栄紀	—	17
8月25日（木）	東京都中央区	中村 和之	文京区昭和小学校	12
1月11日（水）	旭川市	川村 久恵	旭川市立北門中学校	14
1月13日（金）	札幌市	岡田 路明	恵庭市立恵み野旭小学校	25
1月16日（月）	室蘭市	小坂 博宣	室蘭市立知利別小学校	22

③ 親と子のための普及啓発

アイヌの伝統などを内容とした幼児向け絵本の原作を募集し、優れた作品を絵本にして北海道内の保育園などに配布するとともに、ユカラ、ウエペケレなどのアイヌ口承文芸やアイヌの伝承などの中からよく知られている物語を調査し、その物語を小学校低学年向けのアイヌ民話撰集（児童書）として北海道内小学校などに配布することにより、アイヌの歴史や文化についての知識の普及啓発を図った。

(ア) 絵本原作募集

- ・募集期間 6月28日（火）～10月7日（金）
- ・応募点数 15点
- ・幼児向け絵本（原作）募集に係る選考委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委 員	加藤 忠	公益社団法人北海道アイヌ協会理事長
委 員	磯部恵津子	白糠アイヌ文化保存会会長
委 員	乾 芳宏	元余市町立余市水産博物館館長
委 員	杉浦 篤子	藤女子大学人間生活学部保育学科教授
委 員	杉山 一夫	公益財団法人ふきのとう文庫評議員
委 員	八幡 巴絵	一般財団法人アイヌ民族博物館学芸員

- ・一次審査（在宅審査）

実施時期	審査対象作品数	摘 要
10月下旬	15作品	審査委員に出品作品(写)を送付し在宅審査を行う。

- ・選考委員会（二次審査）

開催時期	開催場所	協議事項等
11月17日（木）	アイヌ文化財団会議室	二次審査対象作品の選定～二次審査受賞作品の決定

- ・絵本の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
「しっぽ沼」	3月	5,000	全国の図書館、北海道内の小学校、幼稚園、保育所など

(イ) アイヌ民話撰集（児童書）

・アイヌ民話撰集の作成・配布事業企画編集委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	丹菊 逸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	阿部かおり	北海道立図書館利用サービス部利用サービス部資料課主任
委員	押野 朱美	一般財団法人アイヌ民族博物館伝承課学芸員
委員	関根 健司	平取町立二風谷アイヌ文化博物館学芸員補
委員	高橋 靖以	北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員研究員

・企画編集委員会

開催日	開催場所	協議事項等
6月22日（月）	アイヌ文化財団会議室	委員長の互選 物語（題材）の選定 今後の制作について 今後の作業内容と作業分担
8月31日（水）～ 9月1日（木）	アイヌ文化財団会議室	委員から作品のレクチャー 今後のスケジュール
10月27日（木）～ 10月28日（金）	アイヌ文化財団会議室	内容の検討 今後のスケジュール

・アイヌ民話撰集（児童書）の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌの昔話 キノコが生えた男の子 イソイタッ4	3月	5,500	全国の図書館、北海道内の小学校、 国内主要博物館など

④ セミナー

アイヌの伝統などについての基礎的な知識を有する方や学校教育・社会教育関係者などを対象に、アイヌの歴史や文化をテーマとする高度な内容のセミナーを開催した。

(ア) 山形会場（東北芸術工科大学）

開催日	講師	テーマ	受講者数
7月22日（金）	村上 一馬	津軽アイヌの狩猟－江戸時代の藩日記から－	31
7月23日（土）	田口 洋美	アイヌとマタギ：クマを崇め、クマを狩る人々	30
	関根 真紀	工芸を通して伝えるアイヌ文化	33

(イ) 札幌会場（かでの2・7）

開催日	講師	テーマ	受講者数
7月26日（火）	中井 貴規	私とアイヌ文化	29
	関根 達人	アイヌ文化における酒とタバコ	31
7月27日（水）	高橋 靖以	アイヌ語研究の現状とドキュメンテーションの必要性	43
	酒井奈々子	ハボレカの心を受け継いで	39
7月28日（木）	内田 順子	歴博所蔵のアイヌ関係資料について －ニール・ゴードン・マンローの写真資料を中心に－	40
	落合 研一	先住民族は、何に「先住」していた「民族」か？	37

7月29日(金)	田口 洋美	アイヌとマタギ：クマを崇め、クマを狩る人々	47
	村上 一馬	津軽アイヌの狩猟－江戸時代の藩日記から－	45
8月8日(月)	菅原 慶郎	近世蝦夷地から広がる輸出商品の流通世界 －ナマコ・アワビ・コンブ・ラッコ－	38
8月9日(火)	矢崎 春菜	アイヌが見上げた星々の物語	26

(ウ) 東京会場 (アイヌ文化交流センター)

開催日	講師	テーマ	受講者数
8月2日(火)	内田 順子	歴博所蔵のアイヌ関係資料について －ニール・ゴードン・マンローの写真資料を中心に－	33
	落合 研一	先住民族は、何に「先住」していた「民族」か？	36
8月3日(水)	田口 洋美	アイヌとマタギ：クマを崇め、クマを狩る人々	34
	村上 一馬	津軽アイヌの狩猟－江戸時代の藩日記から－	32
8月4日(木)	矢崎 春菜	アイヌが見上げた星々の物語	26
	酒井奈々子	ハボレカの心を受け継いで	27
8月5日(金)	高橋 靖以	アイヌ語研究の現状とドキュメンテーション の必要性	35
	中井 貴規	私とアイヌ文化	32
8月23日(火)	関根 達人	アイヌ文化における酒とタバコ	23
8月24日(水)	菅原 慶郎	近世蝦夷地から広がる輸出商品の流通世界 －ナマコ・アワビ・コンブ・ラッコ－	22

(エ) 帯広会場 (帯広百年記念館)

開催日	講師	テーマ	受講者数
11月25日(金)	菅原 慶郎	近世蝦夷地から広がる輸出商品の流通世界 －ナマコ・アワビ・コンブ・ラッコ－	48
11月26日(土)	関根 達人	アイヌ文化における酒とタバコ	50
	酒井奈々子	ハボレカの心を受け継いで	51

⑤ 講演会

広く国民一般を対象に、全国各地でその地域の社会的状況を考慮しながら、アイヌの歴史や文化をテーマとした基礎的な内容の講演会を開催し、その知識の普及啓発を図った。

開催日・開催地	演題	講師	来場者数
5月14日(土) 富山県富山市	越中、そして蝦夷地	佐々木利和 北海道大学アイヌ・先住民研究 センター客員教授	782
7月16日(土) 北海道登別市	幌別地方の神々と文化 －知里姉弟が描いた アイヌの精神世界－	北原次郎太 北海道大学アイヌ・先住民研究 センター准教授	220
2月4日(土) 茨城県水戸市	DNAが明らかにする 日本列島集団の成立史	篠田 謙一 国立科学博物館副館長	568

⑥ イランカラフテキャンペーン

アイヌ語の挨拶の言葉である「イランカラフテ」をアイヌ文化の情報発信や理解促進のキーワードとして、アイヌ文化等への親近感や共感を高めるための取り組みを実施した。

(ア) 『ゴールデンカムイ』とアイヌ文化展

アイヌ文化も登場する冒険マンガ『ゴールデンカムイ』と連携した展覧会を開催し、作品に描かれるアイヌ文化の世界をデジタル原画とパネル、アイヌ民具（実物）の展示で紹介した。

【開催日時等】

日 時	場所・来場者数	トークイベント
10月4日(火)～8日(土) 各日 10:00～19:00 *最終日は 18:00 まで	道新プラザ DO-BOX 来場者数 1,287 名	日時：10月8日(土) 14:00～15:00 講師：中川 裕 概要：マンガに描かれたアイヌ文化に関する世界観などについて
12月23日(金)～25日(日) 各日 10:00～19:00 *最終日は 18:00 まで	札幌駅前通地下 歩行空間北大通 交差点広場(西) 来場者数 3,532 名	無し
1月17日(火)～19日(木) 各日 9:00～20:00 *初日は 12:00 から 最終日は 19:00 まで	KITTE地下1階 東京シティアイ パフォーマンス ゾーン 来場者数 8,377 名	日時：1月17日(火) 18:30～19:30 講師：中川 裕 概要：マンガに描かれたアイヌ文化に関する世界観などについて
1月20日(金)～26日(木) 各日 10:00～18:00 *初日は 13:00 から 最終日は 15:00 まで	アイヌ文化交流 センター 来場者数 707 名	無し

【啓発ツール】

内 容	数 量	備 考
キャラクターを印刷した表紙(カバー) 付付箋紙	5,000 冊	
キャラクターを印刷したA4サイズのクリアファイル	5,000 枚	

(イ) 空港での展示

展示期間	展示場所	主な展示品等	備 考
通 年	新千歳空港	アイヌ工芸品、パンフレット	8月31日(水) リニューアルオープン
通 年	釧路空港	アイヌ工芸品、パンフレット	
通 年	函館空港	アイヌ工芸品、パンフレット	
通 年	帯広空港	アイヌ工芸品、パンフレット	

(ク) 啓発パンフレット

タイトル	言語種別	作成時期	作成数	主な配布先
ふれてみようアイヌ文化	日本語版	3月	40,000	道内主要空港・観光案内所、北海道アイヌ協会、道の駅、道内博物館など
	英語版	3月	6,000	
	韓国語版	3月	6,000	
	広東語版	3月	15,000	
	北京語版	3月	6,000	

2 アイヌ文化交流センター事業

首都圏に居住するアイヌの人々の交流活動やアイヌ文化の伝承活動などを支援するとともに、アイヌと一般の人々との交流の場やアイヌ文化などに関する情報収集・発信の場として、多角的な機能をもつアイヌ文化交流センターを運営した。

(ア) 常設展示の実施

(イ) アイヌ関係図書や映像資料の閲覧

種 別	購入数	寄贈数	総 数	備 考
図 書	25	73	4,576	
映 像	0	6	431	DVD 97本含む

(ウ) イランカラテ・アイヌ文化体験講座

開催日	開催場所	講座種別	講 師	受講者数	受講対象者
7月21日(木)	アイヌ文化交流センター	編 物	弓野 恵子	8	親子
8月6日(木)	アイヌ文化交流センター	舞 踊	平田 幸 東儀 里絵	13	一般
9月22日(木)	アイヌ文化交流センター	刺 繍	宇佐 照代	16	一般
10月27日(木)	アイヌ文化交流センター	刺 繍	島田あけみ	12	一般
11月25日(木)	アイヌ文化交流センター	木 彫	八幡 智子	12	一般
12月22日(木)	アイヌ文化交流センター	木 彫	居壁 太	12	一般

(エ) 交流センター利用者(年間)

区 分	利用者数	対前年比
アイヌ関係者	1,069	△46
一 般	4,420	1,547
合 計	5,489	1,501

V 伝統的生活空間の再生

1 伝統的生活空間の再生事業

アイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生をイメージして自然空間を形成し、その管理運営や自然素材の育成・利用を行い、アイヌ文化の保存、継承及び発展を図った。

① 空間活用等事業・自然素材育成事業

イオルの再生や自然素材育成のための場の確保、空間を活用した普及啓発、自然素材の入手から利用までの一連の過程を行うための管理運営体制の整備を図った。

また、アイヌ文化の伝承活動に必要なにもかかわらず不足している植物の育成やオヒョウニレ等の絶対量が不足している自然素材を植樹、栽培した。

実施地域	事業内容	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の管理 ・自然素材（ポロト休養林・陣屋地区・ポロト地区、森野地区、ヨコスト地区）生育・管理 ・白老イオル事務所(チキサニ)運営 	白老町 (白老モシリ)
平 取	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の管理 ・自然素材（丘畑・水辺空間・イオルの森）の試験栽培・管理、活用 ・チセの活用 ・ライブラリー事業 ・平取イオル事務所運営 	平取町 (二風谷民芸組合等)
札 幌	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 ・ライブラリー事業 	札幌市 (札幌アイヌ協会)
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 	新ひだか町 (新ひだかアイヌ協会)
十 勝	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培地造成・整備等 ・ライブラリー事業 ・アイヌ文化普及啓発 	帯広市 (トカプチアイヌ協会)

② 体験交流事業

イオル空間や自然素材を活用し、一般の方々を対象にアイヌ文化の理解の促進と普及を図った。

実施地域	事業内容等	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> ・海のイオル体験交流 10月1日（土）・8日（土）、10月20日（日） ・山のイオル体験 5月21日（土）、8月2日（火）～3日（水）、 10月13日（木）、2月18日（土） ・川のイオル体験交流 10月27日（木）、28日（金） ・アイヌ文化の体験・体感 8月3日（水）～5日（金） ・ミニ体験交流 4月23日（土）、6月18日（土）、7月29日（金）、 11月12日（土）、12月17日（土）、1月9日（土）、 1月14日（土）、3月11日（土） ・普及啓発出前講座 6月15日（水）、7月16日（土）、8月26日（金）、 9月1日（木）、9月3日（土）、9月5日（月）、 9月12日（月）、11月30日（水） 	白老町 (白老モシリ)

平 取	<ul style="list-style-type: none"> ・キナアカラ（山菜採り）体験 5月14日（土） ・サラニツテセ（袋編み）体験 6月2日（木）～10月20日（木）（全20回） ・イチャ（穂ちぎり）穀物収穫体験 9月24日（土） ・イノウケ体験 10月6日（木）、7日（金） ・アシリチュエフノミ 10月15日（土） ・イオルの森散策・植樹体験 10月29日（土） ・イユタ体験 2月19日（日） ・ミニ体験交流（ブレスレット作り） 6月3（金）、7月29日（金）、1月13日（金） 	平取町 （二風谷民芸組合等）
札 幌	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの伝統料理調理体験 2月8日（水）、2月22日（水） ・アイヌの民具づくり体験（エニヌイペ（枕）体験） 1月24日（火）～2月7日（火）の5日間 2月14日（火）～2月28日（火）の5日間 ・アイヌの子どもの遊び体験 弓矢づくり 2月19日（日） かんじきづくり 2月26日（日） 	札幌市 （札幌アイヌ協会）
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材栽培・収穫体験交流 10月19日（水）、10月20日（木）、10月25日（火） ・伝統的サケ漁の再現・体験 10月21日（金） ・アイヌ文化歴史講座 11月27日（日） ・伝統的アイヌ料理の実習体験 3月23日（木）、24日（金） 	新ひだか町 （新ひだかアイヌ協会）
十 勝	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの薬用植物を学ぶ体験 「アイヌの知恵を学ぶ～植物編」 9月18日（日） ・アイヌの薬膳料理体験 「薬膳アイヌ料理体験交流会」 1月22日（日） 	帯広市 （トカプチアイヌ協会）

③ 伝承者育成事業

イオル空間を利用して、アイヌ文化に関する知識や技術を身につけさせる事業を実施し、人材（伝承者等）の育成を図る。

区 分	事業内容等	委託先
3期生 3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者 5名 ・受講日数 230日 ・講義及び実習 	一般財団法人アイヌ民族博物館

④ 連携促進事業

各地域共通の課題の解決や取り組みの更なる充実を図るためには地域間の連携が重要であることから、地域間のネットワークの形成やイオル事業を担う人材の育成などを図る。

(ア) ネットワークの形成等

- ・ネットワーク会議の開催 2月22日(水)
- ・事業実施地域の情報交換、実施地域以外への情報提供等
- ・自然素材の融通等
- ・地域の伝統文化、伝承者、活動団体等に関する情報の提供

⑤ 連絡調整等

(ア) アイヌの伝統的生活空間の再生事業検討会議

- ・委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	三上 純一	むかわアイヌ協会会長
委員	木村 英彦	平取アイヌ協会会長
委員	高木喜久恵	シノッチャの会会長
委員	出利葉浩司	北海道博物館学芸員
委員	山丸 和幸	白老アイヌ協会副会長

- ・検討会議

開催日	開催場所	協議事項等
11月8日(火)	北海道水産ビル (第2水産ビル)	<ul style="list-style-type: none">・平成27年度イオル再生事業に関する検証評価(案)について・平成28年度イオル再生事業実施計画(案)について・平成29年度イオル再生事業実施計画(素案)について・アイヌの伝統的生活空間の再生事業の「新たな中期的展開方針」に関する報告書(案)について

2 伝統的生活空間(イオル)の再生事業関連事業(再掲)

上級講座		p. 7 参照
親と子のアイヌ語学習	⇒	p. 7 参照
文化フェスティバル		p. 16 参照

VI その他

○ 助成事業関係

平成 29 年度の助成申請に向け助成事業案内を作成、配付するとともに、地域に出向き説明会を開催した。

資料名	作成時期	作成数	配付先
助成事業案内 29 年度版	1 月	500 部	北海道アイヌ協会、各アイヌ協会、アイヌ関係団体、道内博物館ほか

・事業説明会

開催地	開催時期	説明者
東京都、旭川市、網走市、帯広市、釧路市、札幌市、新ひだか町、登別市、八雲町	1 月～2 月	財団職員

第 4 賛助会員の状況

区 分	入会者数	退会者数	継続数	備考
個人会員	6	2	73	アイヌ文化普及啓発資料として、カレンダーおよび小冊子「アイヌの人たちとともに」を作成
法人会員	0	2	5	
合 計	6	4	78	

第 5 事業報告の附属説明調書

該当なし